

# ひょうご 男女共同参画ニュース



11/10 第37回ひょうご女性未来会議 in こうべ・第17回ひょうご女性未来 <sup>はなだ</sup> 賞表彰式

「一歩前へ！～いつだってワタシらしく輝くために～」をテーマに「第37回ひょうご女性未来会議 in こうべ」が神戸学院大学ポートアイランドキャンパスで開催され、さまざまな分野で活躍する女性約150名が一同に集い、交流を深めました。



第一部のパネルディスカッションでは企業人、起業家、ダブルワーカー、退職後に地域活動をされている方など、幅広い年代の様々な立場の4名のパネリストが、人生のどんな時期にも社会とつながり続けながら、自分らしく輝くために必要な事について語り合いました。

第二部では、神戸学院大学現代社会学部学生らによるミニコンサートのほか、井戸知事や久元神戸市長、佐藤神戸学院大学学長ら応援団からのエールに続き、未来を切り拓き時代を担う女性の活躍をたたえ応援する「第17回ひょうご女性未来・

はなだ賞」の授賞式が行われました。

在宅介護・訪問看護事業所を運営する大槻恭子さん（豊岡市）、ジュニアアスリートたちへの食育活動を行う松崎美奈子さん（芦屋市）、女性を中心とした観光船の運航を行う「ファンタジー号女性クルー」（神戸市）が選ばれ、表彰状、副賞及び神戸新聞社からの記念品が授与されました。

また、恒例のリレートークでは神戸学院大学の学生や、幅広い分野で活動している女性9名が、各自の活動内容や日頃考えていることについて紹介しました。



参加者同士の交流タイムのあと、こうべ実行委員会から次回開催地である太子町実行委員会にペナントの引き継ぎを行い、太子町実行委員会から令和2年5月10日（日）開催に向けたPRが行われました。

（問）県立男女共同参画センター 078-360-8550

## 11/16 令和元年度ひょうご家庭応援県民大会を開催しました

11月16日、兵庫県公館において「令和元年度ひょうご家庭応援県民大会」が開催されました。

開会にあたり、井戸知事は「地域の安全体制構築のために、地域と家庭の連携が非常に重要。また、月に1度は家族と一緒に過ごす『家族の日』を決めて、家族のぬくもりを再構築する機会を作っていただきたい。」と、長岡県議会議長は「写真はとても正直です。被写体のありのままの姿を映す写真はご家庭の宝物だと思います。家庭応援の施策を県議会も全力で応援していきます。」とそれぞれお話しされました。



「第12回家族の日写真コンクール」の表彰式では、知事賞など上位4賞の授与に続いて、入賞作品14点全てをスライドで紹介。今回のテーマである



「わたしの家族自慢」にちなんだ心温まる作品の数々に会場内は自然と笑顔で溢れました。

次に事例発表として、中村千江美さん（加西市連合婦人会理事）と山下淑子さん（長田区連合婦人会会長）から、それぞれの地域で行っている子育て支援活動について、活動の様子を映した写真の紹介を交えて、ご説明いただきました。

続く講演では、筒井淳也さん（立命館大学産業社会学部教授）から、「家族のこれまでとこれから」というテーマでお話しいただきました。古代から現代にいたるまでの家族の形の変化、現代の家族における課題等について、分かりやすくご説明いただき、参加者らは自身の家庭と重ねながら、聞き入っていました。



閉会時には、原孝さん（こころ豊かな美しい兵庫推進会議副会長）が、「今日の事例発表・ご講演を参考にして、各家庭で改めて家族の大切さについて考えるとともに、各地域において、子ども達を見守りながら、地域を盛り上げていきましょう。」と締めくくりました。

（問）県男女家庭課 078-362-3385



## イーブン開催事業報告

11/9

### 男女共同参画セミナーを開催しました！ 「わたしの人生、わたしのもの！～母娘関係を考える～」

母娘関係による生きづらさの解消を図るため、母娘関係に悩む娘の立場から考えるセミナーを開催し、フェミニストカウンセリング界の加藤伊都子さんにご講演いただきました。

まず、加藤さんから母娘関係について「男は仕事、女は家庭」といったジェンダー規範との関係が強いことを説明。女の子を題材にした「ちいさなあなたへ」と男の子を題材にした「きみがいま」の二冊の絵本を比較しながら、母が娘への視線と息子への視線が異なることや、幻想の母像や娘像が社会によって作られること、そして、女性らしく育てられた結果、娘が他者優先と自己喪失に陥り、母と同じ人生を過ごしていると指摘されました。

その上で、娘が母から分離するためのプロセスが必要で、安心して母を否定できる場、よい娘でなくてもいられる場所、仲間を持ち、母親と物理的、心理的な距離を取ることが大切なこと、そして、自分の人生は自分のため、自分の幸福のため

にあることを忘れないようにと語られました。

最後に自尊心を強くするために、大いに自分を甘やかし、自己肯定感を持ってほしいとのメッセージを伝えました。

参加者には涙を浮かべながら聴く人もあり、「私は自分を犠牲にしないと決めています、それでいいのだと思えるセミナーでした」「今の時代、他者の方もたくさん母娘のことで悩んでいるとはびっくりした。表題のような内容が昨今のことなんだと。自分の頭の古さに気づかされてよかったです」「娘としても、自分が将来親になった時も、一人の社会に生きる人間としても、自分にすりこまれている無意識のジェンダー規範に気をつけようと思いました」などの感想が寄せられました。



(問) 県立男女共同参画センター 078-360-8550



## 男女共同参画推進員地域ブロック事業／女性活躍センター開催事業報告

### 男女共同参画推進員東播磨地域ブロック事業 「人権と防災～身近な助け合い～」(11/2)

11月2日(土)、加古川市人権文化センターで開催。男女共同参画推進員でひょうご防災特別推進員の前川安子さんを講師に、ゲストスピーカーに県加古川土木事務所河川砂防課長の立花篤さんをお迎えして東播磨地域の防災の現状を専門的見地から詳しくご説明いただきました。

いざという時に備えて私たちは何をすべきか、何ができるのか。いわゆる「災害弱者」の存在もふまえて、個人の意識だけでなく地域の繋がりの重要性を改めて問い直す機会となりました。

大規模災害が続く中で決して他人事ではないテーマに、参加者の方々の熱い議論が続きました。



(問) 県立男女共同参画センター 078-360-8550

### 一般事業主行動計画策定セミナー第3回「実効性の高い計画で女性活躍をさらに推進する」(11/12)

6月の女性活躍推進法改正に伴い、従業員数101人以上の企業に行動計画策定が義務付けられるようになります。当センター内に設置する、女性活躍推進センターでは、県内企業の計画策定を支援するための連続セミナーを、兵庫労働局との共同事業として実施しており、このたびセミナーの集大成として、参加企業が行動計画案(14社)を発表し、兵庫労働局からのコメントをもらいました。

アンケートには「他社の計画の中に自社で活かせる内容も多く、大変参考になった」「労働局の具体的なアドバイスにより、実現可能な計画策定を再考したい」との声が寄せられました。

兵庫県では、企業における女性活躍推進に役立つ、各種研修や講師派遣事業等を実施しています。詳細は女性活躍推進専門員までお問い合わせください。



(問) 県立男女共同参画センター 078-360-8550



## 県内市町、企業の取り組み

### 年金制度!?ライフプランニング!? (11/17) ～より良い人生を歩むために“今できること”～

11月17日(日)に尼崎市女性センター・トレピエで開催しました。2019年度尼崎市男女共同参画市民企画講座。前半は、日本の人口減少の推移や年金制度のしくみと現状を学び、自分の老後の生活費はどれだけ必要なのかを考えました。後半は、ライフプランニング表と家族シールを用いて、自分や家族の将来のライフイベントを「見える化」しました。女性は自分のしたいことをついつい後回しにして夢を諦めがちですが、「この時期ならできるかもしれない」という気づきがありました。なお、このセミナーは、2019あまがさ



き女性フォーラムのワークショップのひとつとして、同日開催しました。

(問) 尼崎市女性センター・トレピエ 06-6436-6331

### お笑い行政講座 (11/22) 男女がともに活躍できる社会って?

三木市では、各地域の公民館で毎年高齢者や女性を対象に開催されるセミナーの内の一つを男女共同参画セミナー出前講座として開催しています。その一環として開催された別所町公民館出前講座では、現在尼崎市職員として働きながら、入庁前はプロの漫才師として活躍されていた江上昇さんと桂山智哉さんを講師にお招きし講演をいただきました。共働きを前提として作られたあるCMについて、「妻が主になって行う家事に夫は『参加する』という意識で作られている」など男女共同参画についてのお話をユーモアたっぷり、楽しくお聞かせいただけました。



今回は高齢者セミナーの一環として開催されましたが、子育て世代のご夫婦や、これから結婚されるご予定の方、婚活中の方など、若い世代の方にも聞いてほしいお話でした。

(問) 三木市男女共同参画センター 0794-89-2331

## ◆◆がんばる企業◆◆

### ～「よろず相談信用金庫」としてお客様からも職員からも愛される金庫を目指して～

- 会社名：但陽信用金庫 (加古川市)
- 代表者：理事長 桑田 純一郎
- 事業内容：信用金庫法に基づく金融業務 (預金、融資、為替 等)
- 従業員数：665人 (令和元年10月31日時点)
- URL：<https://www.tanyo-shinkin.co.jp/index.html>



大正15年に創業。南但馬から播磨地域に及ぶ兵庫県中南部を事業区域としており、地元根付いた信用金庫として、個人・企業等を対象に金融業務を行っています。

「正義・革新・人間愛」を経営理念(社訓)に掲げ、金融に関するだけでなく、気軽になんでも相談できる「よろず相談信用金庫」として地元住民や地元企業から親しまれています。

また、同金庫では職員が働きやすい職場環境づくりに向けて様々な取組を行っています。

育児中の職員にも仕事と家庭生活の両立をしながら働き続けてもらうため、産休・育休取得後も職員が復帰しやすい雰囲気作りにも努めており、近年の産休・育休取得者の職場復帰率はほぼ100%です。男性の育児休業の取得も推進しています。

職場におけるハラスメント防止対策としては、

「リーダーシップアンケート」という無記名で部下が上司を評価する制度を導入している他、「ヘルプライン」として理事長の携帯電話番号を職員全員に公開しており、職員が困った時にはいつでも何でも相談できる環境が整えられています。

また、同金庫で策定された女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画においては、女性管理職・代理職の人数増加を目標に掲げています。目標達成に向けて、女性管理・監督職育成を目的とした研修プログラムの実施も予定しており、女性職員のキャリア形成支援に向けた取組も推進しているところです。

これからも、「よろず相談信用金庫」として地元のお客様からも職員からも信頼される、愛される金庫を目指して、取組を進めていきます。

(問) 県男女家庭課 078-362-3160

## ★情報図書室だよりー2019年の推薦図書2冊★

『地方を変える女性たち カギは「ビジョン」と「仕組みづくり」!』 麓幸子著 (2018年 日経BP社)

柔らかなリーダーシップを持ち、様々な活動を通して地方を元気にしている女性たち。本書ではインタビューを通して、17人の女性の活動を紹介しています。住んでいる地域や職業は違っていても、彼女たちには「未来志向」「グローバル(グローバルとローカルの造語)」などの共通項がありました。全国で実績を上げ、活躍し、貢献している女性リーダーたちを知ることで、生きる知恵や勇気をもらえます。“地方の課題は女性たちが解決する!”自分に何ができるのか、考えてみることでできる一冊です。



ジェシカ・ベネット著 岩田佳代子訳『フェミニスト・ファイト・クラブ 職場の「女性差別」サバイバルマニュアル』 (2018年 海と月社)

アメリカで働く女性たちが、月に一度、職場での女性差別をテーマに愚痴り合い、それにどう対抗するかの作戦会議をしたことから始まった「フェミニスト・ファイト・クラブ」。アメリカと日本、国は違っても女性たちが置かれている状況や待遇に対する不満は共通するものが多い。性差別との向き合い方や戦い方が丁寧に、かなりのユーモアを交えて記されている。女性だけでなく、男性もぜひご一読を。



※このページの詳細は、下記までお問い合わせください。

## 兵庫県立男女共同参画センター・イーブンの相談窓口

種類	相談方法	電話番号等	実施日時	
女性のためのなやみ相談 (女性カウンセラー)	電話(直通)	078-360-8551	月～土曜日	9:30～12:00 13:00～16:30
	面接(要予約)	078-360-8554	月～金曜日 土曜日	11:00～18:40 9:20～16:50
法律相談(女性弁護士)	面接のみ ※なやみ相談(面接)後に予約		毎月 第2水曜日(原則)	
男性のための相談(男性臨床心理士)	電話	078-360-8553	毎月第1・3火曜日	17:00～19:00
女性のためのチャレンジ相談 (女性社会保険労務士等)	電話・面接 (電話・面接も要予約)	078-360-8554	毎月第1～4木曜日 R2.2.22(土)	10:00～13:00
女性就業相談室ハローワーク相談窓口	問い合わせ(電話相談不可)	078-360-8260	月～金曜日	9:00～17:00
情報相談(情報アドバイザー)	電話(直通)	078-360-8557	月～土曜日	9:00～17:00
不妊・不育専門相談(助産師等)	電話(直通)	078-360-1388	毎月第1・3土曜日	10:00～16:00
	面接(要予約)	078-362-3250	毎月第2土曜日	14:00～17:00
思いがけない妊娠SOS(助産師)	電話(直通)	078-351-3400	月曜日と金曜日	10:00～16:00
	メール <a href="http://ninshinsos-sodan.com">http://ninshinsos-sodan.com</a>		随時受付。返信は原則として1週間以内	

## ひょうご男女共同参画ニュース

令和元年12月号(Vol. 105) ※毎月1日発行

【編集・発行】 兵庫県立男女共同参画センター・イーブン、兵庫県男女家庭課

【問い合わせ】 〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-1-3 神戸クリスタルタワー7階 兵庫県立男女共同参画センター  
TEL:078-360-8550 FAX:078-360-8558

【開館時間】 月～金曜日 9:00～19:00 / 土曜日 9:00～17:00 HP <https://www.hyogo-even.jp/>

【休館日】 日曜日、祝日、国民の休日、年末年始(12/28～1/4) Facebook <https://www.facebook.com/hyogo.even>

このニュースは、関係機関・団体や希望者に配信させていただくとともに、男女共同参画推進員がお配りさせていただいています。配信を希望される方は、上記にご連絡ください。